

ORACLE®

2003年5月期 中間決算説明会

**中間決算概況と業績予想
日本オラクル株式会社**

2003年1月15日

ORACLE

日本オラクル株式会社
取締役常務執行役員
最高財務責任者

野坂 茂

ORACLE

3

1. 2003年5月期中間決算概要

前期からの変更点

サポートサービスの収益認識方法の変更の影響

(当中間期に影響、通期では影響なし。)

パートナーからの報告書到着日基準からサポート提供期間に按分する方法へ変更

売上高(サポートサービス)+594百万円

営業利益 +386百万円

経常利益 +386百万円

ORACLE

5

(1) 中間決算実績ハイライト

(百万円)

	前中間期	当初予想	当中間期	前期比
売上高	43,843	36,900	39,353	▲ 10.2%
営業利益	16,494	8,500	10,610	▲ 35.7%
営業利益率	37.6%	23.0%	27.0%	
経常利益	16,560	8,500	10,579	▲ 36.1%
経常利益率	37.8%	23.0%	26.9%	
中間純利益	9,497	4,800	6,076	▲ 36.0%
当期利益率	21.7%	13.0%	15.4%	

ORACLE

6

(2) 部門別売上構成

(百万円)

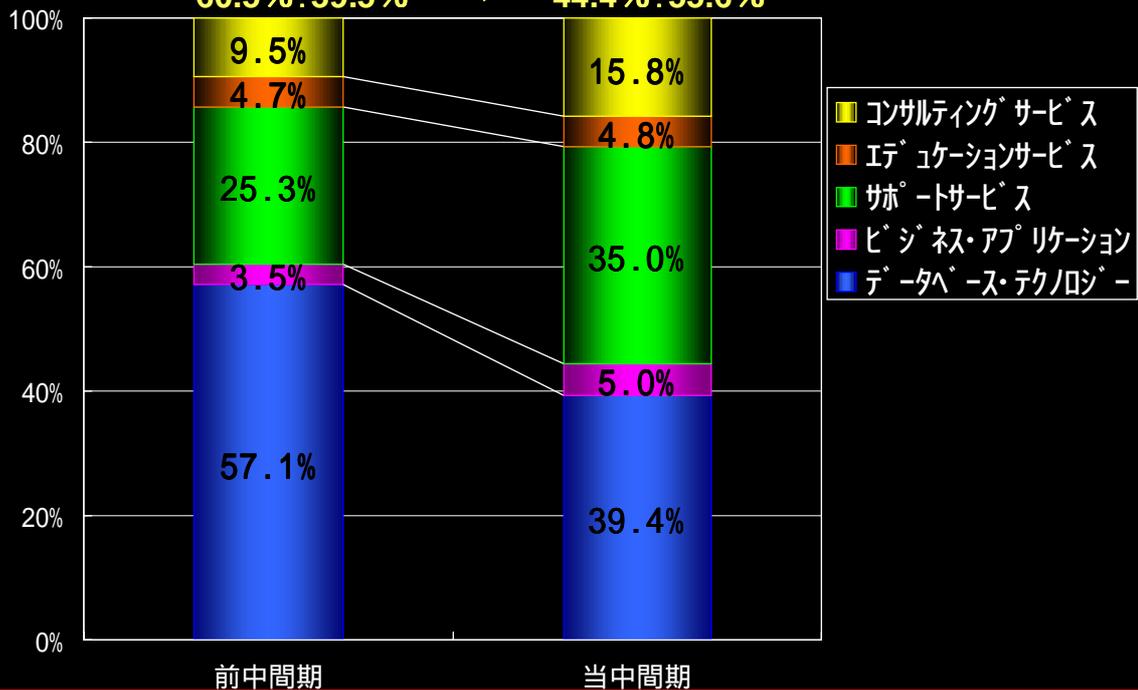
	前中間期	当初予想	当中間期	前期比
データベース・テクノロジー	25,014	15,500	15,492	▲38.1%
ビジネス・アプリケーション	1,517	1,500	1,974	30.2%
ソフトウェアプロダクト小計	26,531	17,000	17,467	▲34.2%
サポートサービス	11,076	12,400	13,772	24.3%
エデュケーションサービス	2,076	2,000	1,906	▲8.2%
コンサルティングサービス	4,158	5,500	6,206	49.2%
サービス小計	17,311	19,900	21,886	26.4%
合計	43,843	36,900	39,353	▲10.2%

ORACLE

7

(3) 部門別売上構成比

ソフトウェアプロダクト部門とサービス部門の割合
60.5% : 39.5% → 44.4% : 55.6%

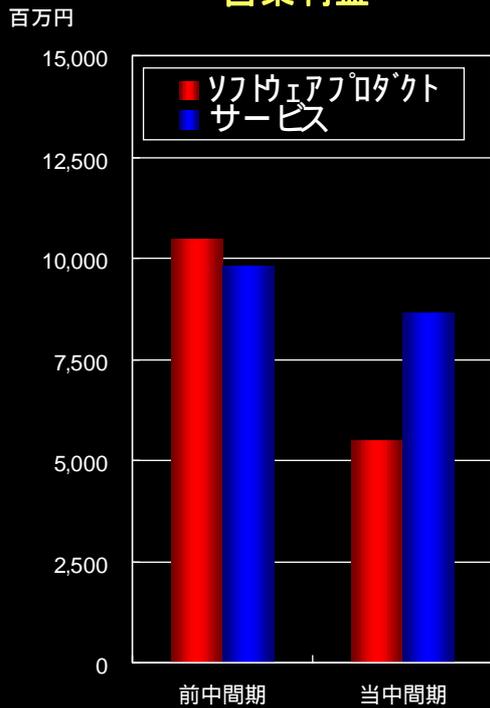


ORACLE

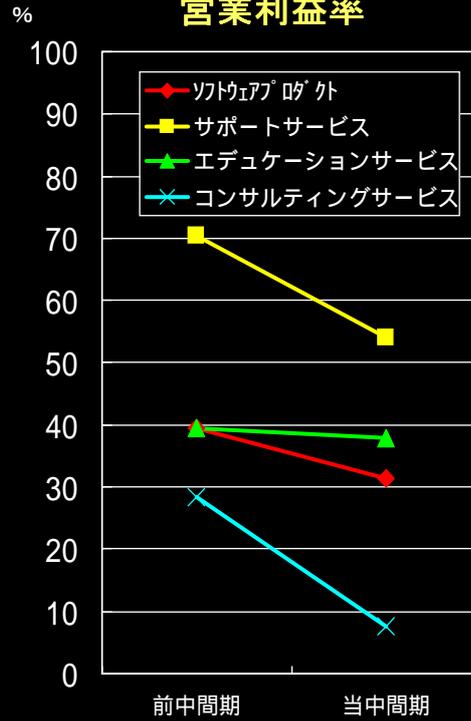
8

(4) 営業利益内訳

営業利益



営業利益率



ORACLE

(注) 管理部門費用等の控除前の数値 9

2. 部門別概況

(1) データベース・テクノロジー

概況

当初予想との比較ではほぼ予想どおり。

前年同期との比較では、

- 産業別では通信公共、特に通信が減。
- 製品別では、EEの売上が前年比45%減、一方SEは15%減。
EEはCPUベースの出荷数量が増えている。(価格改定の効果)

トピックス

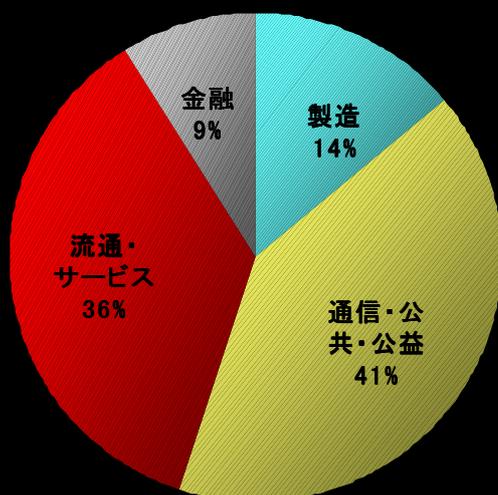
- 「Oracle9i Release2」の出荷を開始(昨年8月)
- 中堅企業や地方顧客向けの販売促進活動の実施

ORACLE

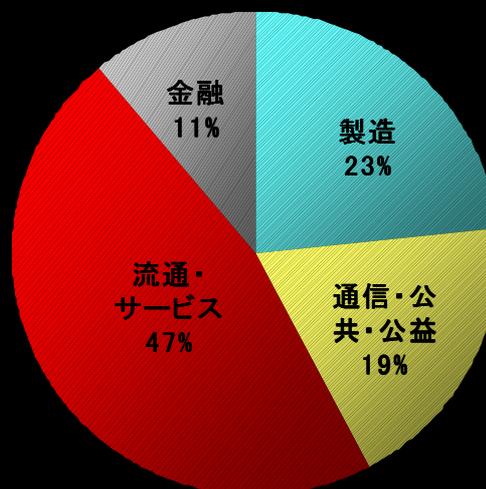
11

(1) データベース・テクノロジー 業種別売上構成比

前中間期



当中間期



ORACLE

(注) SIC(Standard Industrial Classification (標準産業分類)コードに基づくオラクル推計値

12

(2) ビジネス・アプリケーション

概況

市場環境の良くない中、大型案件の受注等により、売上は当初予想比、前期比で約30%増を達成。

トピックス

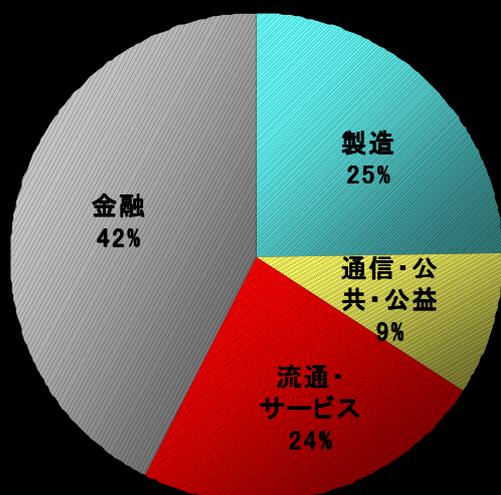
- 「Oracle E-Business Suite 11i Release7」を昨年8月出荷開始
- CRM分野でのパートナー企業との協業
 テンプレートや短期導入ソリューションの共同開発等

ORACLE

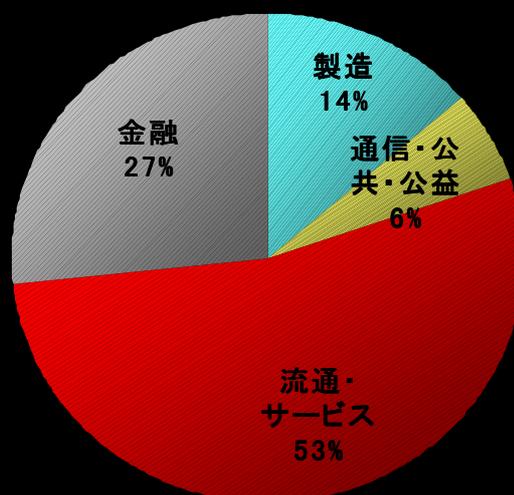
13

(2) ビジネス・アプリケーション 業種別売上構成比

前中間期



当中間期



ORACLE

(注) SIC(Standard Industrial Classification (標準産業分類)コードに基づくオラクル推計値

14

(3) サービス部門

概況

<サポートサービス>

- 前期のソフトウェアプロダクトの売上が好調であったことや、パートナー企業各社のサービスビジネス強化により、契約の更新率は当初予想を上回った。

<エデュケーションサービス>

- 景気低迷による研修費用削減の影響のため、対当初予想、対前年で減少
- eラーニングサービス「OLN」への移行体制を強化

<コンサルティングサービス>

- コンサルティングサービスは、大型案件の売上で順調に推移
- プロジェクト管理ノウハウを蓄積(中期経営計画「Oracle Japan Innovation 2003」でビジネスモデルの転換を目指す)

ORACLE

15

(4) 中間期売上原価・販管費（前期比）

(単位:億円)

費目	前中間期	当中間期	差	コメント
売上原価	162	188	+26	・ロイヤルティ サポート変更の影響+20 売上減に伴うもの-23 ・業務委託費についてはコンサル部門の外注費の増加
ロイヤルティ	110	107	▲3	
人件費	27	30	+3	
業務委託費	24	47	+23	
その他	1	3	+2	
販管費	111	98	▲13	・業務委託費の節減
人件費	49	47	▲2	
業務委託費	17	13	▲4	
広告宣伝費	11	11	0	
その他	32	27	▲5	

従業員	1,591人	1,588人	▲3人
-----	--------	--------	-----

ORACLE

16

3. 2003年5月期 業績予想

(1) 下期見込みハイライト

(百万円)

	前下期	当初予想	修正予想	前期比
売上高	42,519	51,700	42,147	▲ 0.9%
営業利益	14,523	18,100	10,290	▲ 29.1%
営業利益率	34.2%	35.0%	24.4%	
経常利益	14,535	18,100	10,221	▲ 29.7%
経常利益率	34.2%	35.0%	24.3%	
純利益	8,123	10,400	4,824	▲ 40.6%
利益率	19.1%	20.1%	11.4%	

(2) 下期部門別売上構成

(百万円)

	前下期	当初予想	修正予想	前期比
データベース・テクノロジー	19,565	24,500	16,008	▲18.2%
ビジネス・アプリケーション	1,935	3,500	3,326	71.9%
ソフトウェアプロダクト小計	21,499	28,000	19,333	▲10.1%
サポートサービス	13,735	15,600	14,828	8.0%
エデュケーションサービス	1,945	2,100	1,694	▲12.9%
コンサルティングサービス	5,341	6,000	6,294	17.8%
サービス小計	21,021	23,700	22,816	8.5%
合計	42,519	51,700	42,147	▲0.9%

ORACLE

19

(3) 下期売上原価・販管費・特別損益（前期比）

(単位: 億円)

費目	前下期	当下期予想	差	コメント
売上原価	170	207	+37	・ロイヤルティ サポート変更の影響+11
ロイヤルティ	109	118	+9	売上減に伴うもの-2
人件費	25	34	+9	・コンサル部門(原価部門)への 人員のシフトによる人件費の増。
業務委託費	23	42	+19	・業務委託費についてはコンサル 部門の外注費の増加
その他	12	11	▲1	
販管費	109	111	+2	・コンサル部門(原価部門)への 人員のシフトによる人件費の減
人件費	49	42	▲7	・業務委託費の節減
業務委託費	24	17	▲7	・広告宣伝費の増加
広告宣伝費	6	17	+11	
その他	29	34	+5	
特別損失	4	16	+12	ネクストキャリアプログラムの実施に伴う 特別退職金の支払+16
従業員	1,623人	約1,500人	▲123人	ネクストキャリアプログラムの実施による減

ORACLE

20

(4) 2003年5月期 通期業績予想

(百万円)

	前年実績	当初予想	修正予想	前期比
売上高	86,362	88,600	81,500	▲ 5.6%
売上総利益(率)	53,039(61.4%)	48,000(54.2%)	41,900(51.4%)	▲ 21.0%
販売管理費	22,021	21,400	21,000	▲ 4.6%
営業利益(率)	31,017(35.9%)	26,600(30.0%)	20,900(25.6%)	▲ 32.6%
経常利益(率)	31,095(36.0%)	26,600(30.0%)	20,800(25.5%)	▲ 33.1%
当期純利益(率)	17,620(20.4%)	15,200(17.2%)	10,900(13.4%)	▲ 38.1%
EPS	137.45円	118.57円	85.20円	
1株当たり配当金	100.00円	120.00円	85.00円	

(中間35円・期末50円)

ORACLE

21

(5) 2003年5月期 通期売上高予想 (部門別内訳)

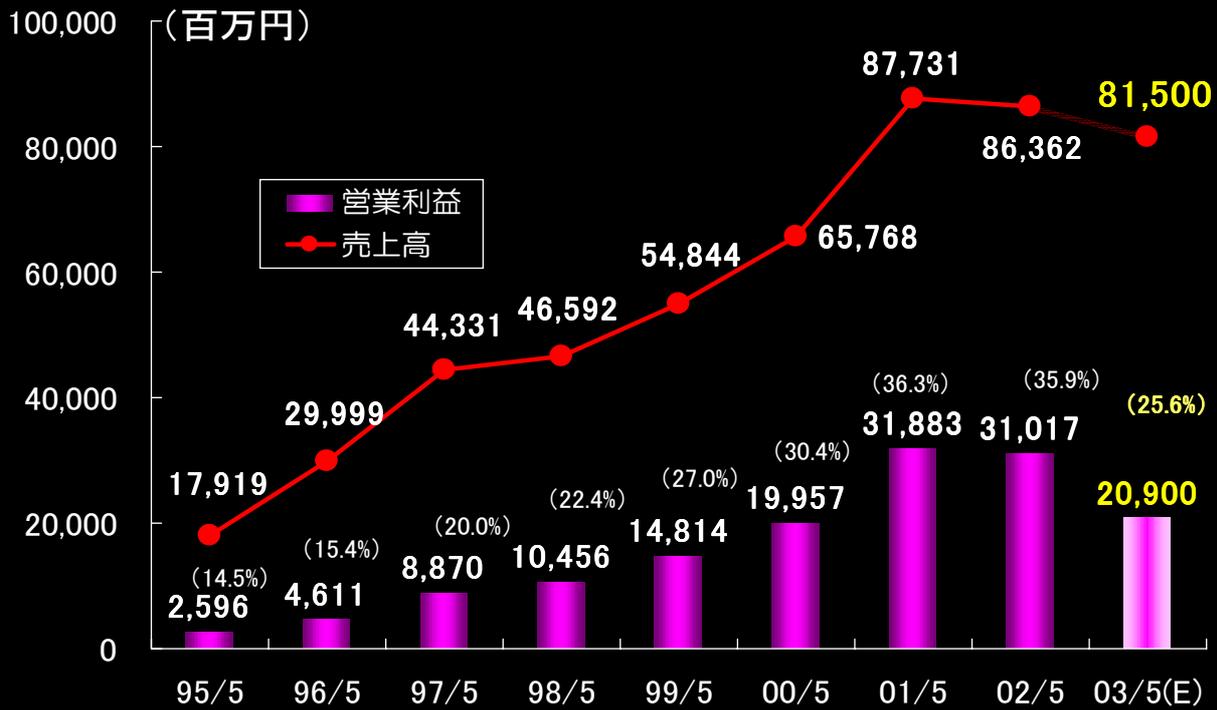
(百万円)

	前年実績	当初予想	修正予想	前期比
データベース・テクノロジー	44,578	40,000	31,500	▲ 29.3%
ビジネス・アプリケーション	3,452	5,000	5,300	53.5%
ソフトウェアプロダクト計	48,030	45,000	36,800	▲ 23.4%
サポートサービス	24,811	28,000	28,600	15.3%
エデュケーションサービス	4,021	4,100	3,600	▲ 10.5%
コンサルティングサービス	9,499	11,500	12,500	31.6%
サービス計	38,332	43,600	44,700	16.6%
売上高合計	86,362	88,600	81,500	▲ 5.6%

ORACLE

22

(6) 売上高・営業利益の推移と予想

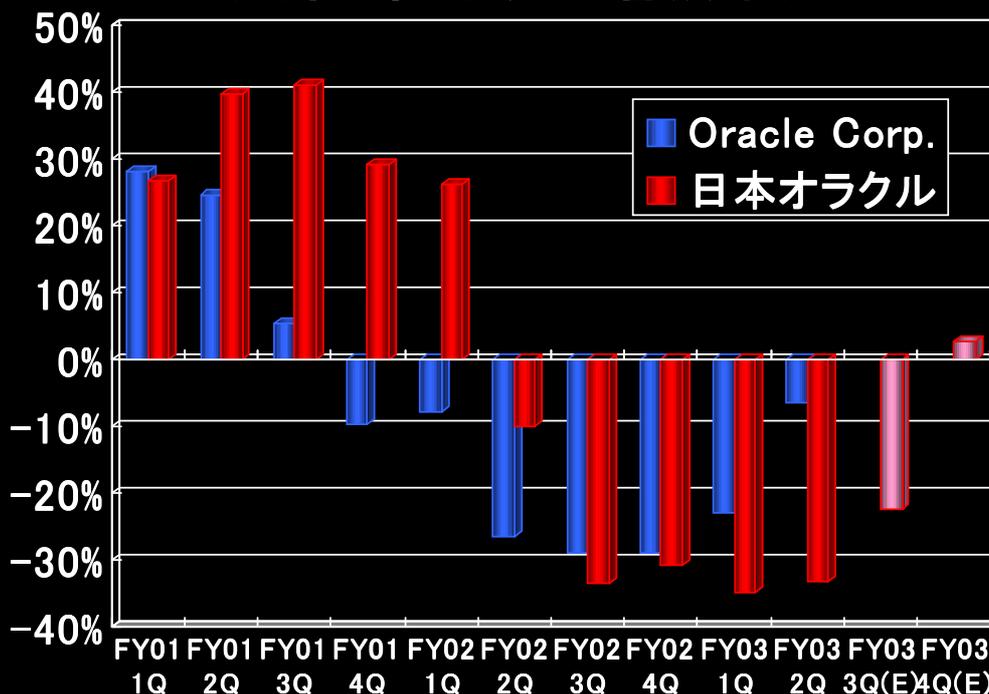


ORACLE

(注) ()内は営業利益率

23

(7) ソフトウェアプロダクト売上トレンド (対前年同期比増減率)



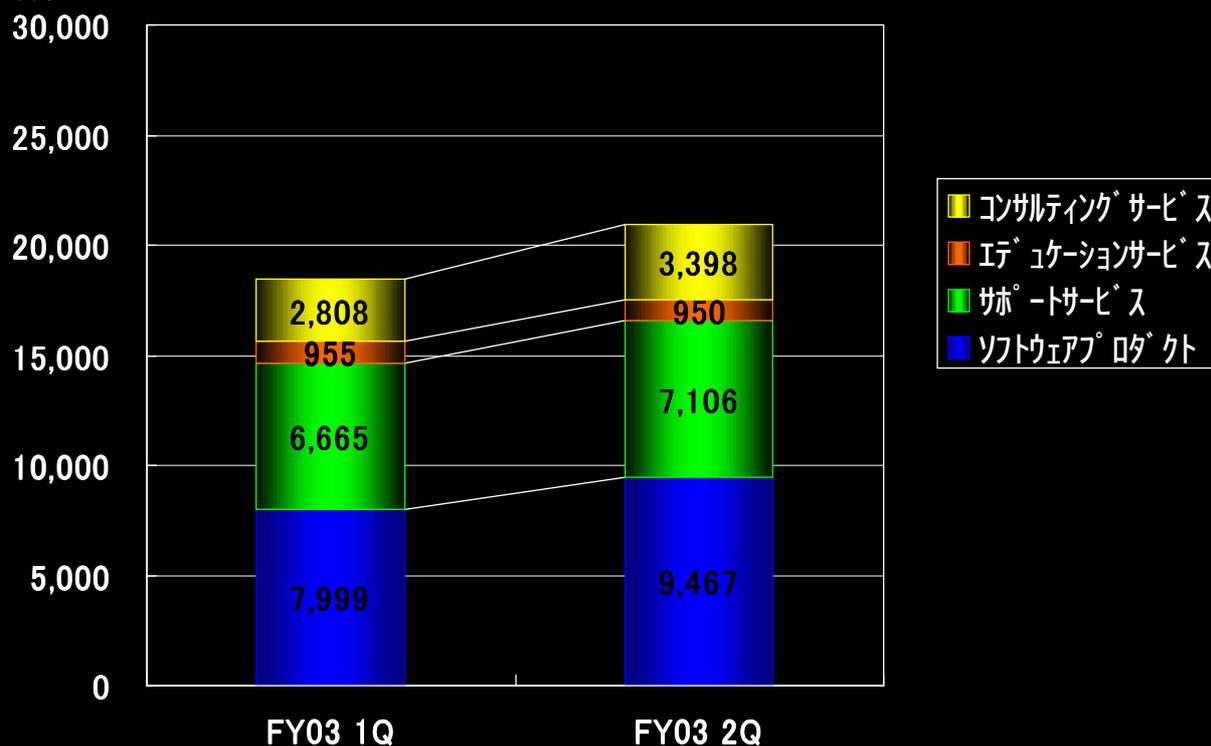
ORACLE

(注) US GAAPベースの数字による。

24

(8) 売上トレンド（部門別内訳）

百万円



ORACLE

(注) 当社は現時点で四半期開示を実施しておらず、未監査のデータによる。 25

注意事項

本資料に含まれている業績予想等、歴史的事実以外の事象については、本資料の発表日において入手可能な情報から判断された一定の前提に基づき日本オラクル株式会社が策定したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があることをご承知おきください。

IR Web Site <http://www.oracle.co.jp/corp/index.html>

ORACLE

ORACLE®